

癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

レジメン名 NHL2 R-CHOP

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
リツキサシ	リツキサマブ	-	375mg/m ²	div	DAY1	下記参照	21-28日間
エンドキサシ	シクロホスファミド	CPA	750mg/m ²	div	DAY1	1.5時間	
ドキサソルビシシ	塩酸ドキサソルビシシ	DXR	50mg/m ²	div	DAY1	15分	
オンコビシ	ビンクリスチシ	VCR	1.4mg/m ² (MAX2mg/body)	div	DAY1	15分	
プレドニシ	プレドニゾロシ	PSL	100mg/body	po	DAY1-5	-	

R-CHOP

2回目以降【DAY 1】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg / 15分 ☆別々のシリンジで混注
- ② NS 500ml + リツキサシ mg /100ml/hrから開始
投与速度: 30分毎に 100ml ずつ上げる(200ml/hr → 300ml/hr → 400ml/hr)
- ③ NS 50ml + グラニセトロン 1A / 15分
- ④ NS 50ml + ドキサソルビシシ mg / 15分
- ⑤ NS 50ml + オンコビシ mg / 15分
- ⑥ NS 250ml + エンドキサシ mg / 1.5時間
- ⑦ NS 50ml / 全開

〈 調整方法 〉

リツキサシは 1mg/ml となるように生理食塩水(5%Tzも可)で希釈する。(10倍希釈)

輸液バックは緩やかに混和する。振とうにより泡立つと抗体凝集がおきる。

〈 備考 〉

- ① 投与速度は 初回は50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ② 2回目以降は 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分以下に下げる。
- ④ 化療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後もHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ リツキサシはフィルター(0.2μmのインラインフィルター:テルモ)使用可能。
- ⑥ ドキサソルビシシ:累積投与量依存的に心筋障害の発生頻度上昇。総投与量500mg/m²。
- ⑦ ドキサソルビシシ:壊死性抗がん剤であるため、血管外漏出に注意。

H26.11.18 作成

H27.10.1 改訂